

別添 3

自然環境整備計画の目標の達成状況等の評価

都道府県名		岐阜県		個別地域名	東海自然歩道（奥矢作湖展望のみち 他）全線、中部北陸自然歩道（荻町合掌集落のみち 他）全線（連絡コース除く）、飛騨木曾川国定公園（特別保護地区 鬼岩園地 他）、揖斐養老関ヶ原国定公園（養老山頂登山道 他）			評価年度	令和 3 年度
事業実施期間		平成 28 年度～平成 32 年度		事業費	95,444 千円			（うち国費 42,944 千円）	
事業の実施内容		<p>利便性・快適性の改善 ○老朽化している既存施設（標識等）を撤去し、新たな施設を整備した。 ○利用者の利便性向上のための施設（公衆トイレ）を新しく整備するほか、利用者の快適性向上のため設備改修（便槽改修、手洗い設置）を行う。 ○歩道については、利用者の利便性や快適性を考慮し、高齢者等にも歩きやすい構造にする。 施設の安全性の向上 ○老朽化に伴う破損により、利用上支障が生じている橋梁や階段工の施設について、取り替えを行う。</p> <p>実施個所 関ヶ原博物展示施設 池田山園地 鬼岩園地 東海自然歩道 中部北陸自然歩道 養老山頂登山道 揖斐関ヶ原養老国定公園 飛騨木曾川国定公園</p>							
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 東海自然歩道、中部北陸自然歩道、飛騨木曾川国定公園、揖斐関ヶ原養老国定公園の利用者の利便性や快適性、安全性の向上による自然とのふれあいの推進 老朽化施設の再整備により、利便性、快適性が改善された。 破損施設の再整備により、安全な利用が可能となった。 							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価
						基準年度	目標年度	達成年度	
		その他の指標	破損・老朽化施設の改修による事故・遭難数の減	人	老朽化施設を整備したことによって減った事故・遭難者の数	3	0	0	国定公園・自然歩道施設の整備により、施設の破損・老朽化を原因とする事故・遭難者は発生していない。
			自然歩道利用者数	人	自然歩道の利用者数	1,832,000	1,923,000	185,831	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い利用者数は大きく減少したが、自然を求めるニーズは増加しており、コロナ後の利用増加が期待される。（令和元年度から中部北陸自然歩道利用者数集計方法見直し）
						H27	R2	R2	
				H26	R2	R2			
整備に伴う取り組みの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園施設利用者の利便性向上のため、時代や状況に応じた整備を進めていく必要がある。 								
今後の取り組み		<p>今後も国定公園・自然歩道利用者に安全・快適な利用環境を提供できるよう、利用実態やニーズを踏まえ適切な維持管理及び整備を図る。</p>							